



初めて花巻市へ赴任されてきた教職員の皆さんへ

博物館活用の検討をお願いします

花巻市博物館では、博物館と学校とが連携して子どもたちの学びをサポートする「博学連携事業」を行っています。当館は歴史専門の博物館なので、全国の歴史につながる花巻地域の歴史の学習のお手伝いができます。

博物館の詳細は裏面にある「博物館の紹介」をご覧ください。

事業①★.博物館見学

学習ガイドを使った学習や、実物を見ながら学芸員の解説を聞く学習ができます。「入館料免除申請書」提出で見学は無料になります。また、企画展の期間内であれば、常設展に合わせて企画展も見学できます。



学習ガイドを使い常設展示室を見学

昨年度の
見学の様子



学芸員の解説を聞く

事業②★.出前授業

博物館の学芸員が学校に出向いて授業を行います。無料です。実物資料を観察したりさわったりできるものもあります。1学期には、「縄文時代の暮らし」「戦争と花巻」などが学習に活用できます。



昔の道具と暮らし

昨年度の
出前授業
の様子



戦争と花巻

事業③★.実物資料等の貸し出し

お勧めは「縄文土器片セット」です。実物の土器片をさわって観察できます。

(6年社会科で利用)



縄文土器片セット

事業①～③の申込方法や、出前授業のプログラムの詳細などは、3月に学校に送付した「令和8年度花巻市博物館情報(学年に1部配布)」でご確認ください。

事業④★.研究会

「博学連携研究会」を年2回開催しています。研究会では、見学用の学習ガイドや出前授業の改善などについて協議しています(今年度の1回目は5/26火です)。

花巻市内の小中学生は、

キャンパスカードの提示で入館料が無料!

土・日・祝日と
長期休業中の

花巻市内の社会教育施設は、土日祝日と長期休業中であれば、キャンパスカードの提示により市内の小中学生は無料になります。また「小学生に同伴して来館した保護者」の方も1名が無料となります。ぜひ活用していただきたいと思います。



裏面に続く

花巻市博物館の紹介

花巻市博物館は、「考古」「歴史」「美術・工芸」の3つの分野を柱とした博物館です。常設展示室では、花巻地方の考古、歴史、美術・工芸などを紹介しています。企画展示室では、各種企画展示などを行っています。

常設展示室

考古展示……旧石器時代から古代の花巻地方の歴史と生活文化を、「縄文人の暮らし」「郡の設置と新しい文化」などのいくつかのテーマに分けて解説しています。

歴史展示……中世から近代（鎌倉時代から昭和初期まで）の花巻を、「北東北の争乱と終結」「近代の花巻」などのテーマに分けて解説しています。フロア中央は、花巻開町の祖である北松斎をはじめ、武家文化や城下の暮らしを知るゾーンとなっています。また、昭和初期の花巻駅界隈の模型も展示されています。

企画展示室

現在の展示は「次世代へつなぐ花巻市の歴史」で、花巻市史編さんによる調査過程を紹介するものです。花巻地域の旧4市町の歴史が感じられる内容になっています。※4/12(日)が最終日

次の展示は、4/24(金)から開催するテーマ展「-博物館資料でめぐる- 植物デザイン展」です。

「植物デザイン展」のコンセプト

桜、向日葵、紅葉…と、日本人は季節の移り変わりを、身の回りの植物を通して感じていました。それらは、美術品や日用品などにもデザインされ、日々の生活を彩るものとなっています。

本展では、花巻市博物館で所蔵している資料の中から、植物がデザインされた美術品や様々な道具などを通して、それぞれのデザインに込められた、人々の願いに焦点をあてます。

今年度の企画展示の計画は、3月に学校に送付した「令和8年度花巻市博物館情報(学年に1部配布)」でご確認ください。



古代人の装飾

熊堂古墳群から出土した玉類で首飾りを復元



花巻の美術・工芸

刀、屏風絵、焼物、花巻人形

現在のテーマ展 ~4/12

「次世代へつなぐ花巻市の歴史-花巻市史編さんの取り組み-」

次回のテーマ展 4/24~

「-博物館資料でめぐる- 植物デザイン展」



藤島静村 菊図屏風

菊



竹

桜

花巻焼「染付竹文手焙」



牡丹

花巻人形「宝亀ささえ」



佐藤耕方

「桜下美人図」

お知らせ①

4月24日(金)は、当館の開館記念日のため、入館料が無料。
※5/17(日)も国際博物館の日で無料

お知らせ②

当館の休館日は毎週月曜日
※月曜が祝日等→翌日以降が休館日
※5/4(月)は開館→5/7(木)が休館日

お知らせ③

博物館のワークショップ…5月分の受付だけは特別に4月10日(金)から開始。申込は博物館HP内の申込フォームまたは電話で。
※学校に掲示を依頼しているポスター参照